



89名の新入生を迎えて

校長

4月8日第56回入学式、在校生、そしてたくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様に見守られて、無事に89名の1年生は薬師中学校での第一歩を踏み出しました

ちょっと緊張した表情をしていた1年生ですが、「新入生紹介」で、担任の先生から一人一人名前を呼ばれると、皆、大きな声でしっかりと返事ができました。その返事、一人ひとりの眼差し、式に臨む姿勢に、校長として大変嬉しく、これから始まる中学校生活でのそれぞれの活躍を大いに期待するものであります。そんな新入生の皆さんに、入学式では二つの話をいたしました。

一つは「今、この時を大事に全力で取り組むこと」です。

この学年は中学三年生になる時に、金井中学校との統合を迎え、最初の三年生となります。それはまだ見ぬ、まだわからない不安だらけの事ではありますが、それをあれこれ心配して足踏みしているのではなく、今日できること、今日やらねばならないことを、今、ここにいる仲間とともに大切に過ごしてほしいとの願いをこめています。一生懸命に取り組んだ経験は環境が変わっても仲間が増えても決して揺るがない、人としての「強い根っこ」となることを期待しています。

もう一つは、「多様な価値観を認め合えるしなやかさをもつこと」です。これから始まる薬師中での生活や2年後に出会う新しい仲間との出会いを「楽しみ」「仲間が増えて嬉しい」と前向きにとらえられる広い心を育ててほしいと思っています。自分と違う考えをもつ人に対して心を閉ざさず、相手に対して興味をもって歩み寄れる柔軟な考えや行動は、これからの社会を生きていくうえでも大きな力となると考えるからです。

最後に、今までの薬師中の良き伝統を引き継ぎながら締めくくる最後の世代であり、同時に新しい学校の土台を築く最初の三年生となる皆さんが、最初のリーダーとして胸をはって最高のスタートが切れるよう、在校生、教職員も皆が応援していくことを伝えました。

多様な価値観を認め合い、何事も全力で取り組む姿を数多く、見聞きできることを期待しています。

新入生89名を迎え、全校生徒293名で令和8年度がスタートしました。

生徒、教職員、保護者や地域の方々とともに「また明日」も通いたくなる薬師中学校をつくっていきましょう。

始業式の校長講話より・・・

入学式の二日前、令和8年度の「始業式」では、2、3年生に向けて二つの話をしました。心にとめておいてくれるでしょうか。

一つは「挨拶の励行」です。挨拶は「私はあなたの存在を認め、大切に思っています」という意思表示です。最も短く、それでいて強力なコミュニケーションツールです。

「あかるく、いつでも、さきに、つねに」挨拶ができるよう心掛けていきましょう。

もう一つは、「ねばり強く学びに向かう姿勢」です。中学生の本文は勉強、学ぶことです。そして学校（家庭）生活のあらゆる場面が学習の場面です。勉強、部活動、行事、人間関係などにおいて、思い通りにいかないこと、トラブルなどがあった時に、「すぐにあきらめない」「どうすれば良いのか考え調整や修正をする」ことを「ねばり強く学びに向かう姿勢」といいます。

新入生に対しても、我々教員よりも頼りになる皆さんが笑顔で挨拶し、わからないことが多い1年生にねばり強く色々なことを教えてあげることも上級生としての立派な姿勢、態度です。

この時期は、色々な話を様々な立場の人から聞かされます。自分にとって「ピンときた」「ストンと落ちた」話があれば、覚えていてそして実行していきましょう。

2、3年生の皆さん、学校の顔として、やがて中心となる学年としてよろしく願いいたします。